

「既習外国語」

(1) 英語

① 英語について

英語は国際共通語の1つとして用いられており、英語を身につけておくことは、社会人として活躍する際にも、大学院などに進学し研究を続ける際にも、大変重要です。共通教育における英語の授業は、英語の4技能（読む・書く・聞く・話す）をバランスよく伸ばすこと、およびTOEICなどの資格試験において高得点が取得できることを目標としており、学生の皆さんがこの目標を達成できるよう、様々な科目を開講しています。

② 「英語 I」について

(A) 「英語 I」の概要

- 「英語 I」は全学部の1年生のための英語の科目で、以下の3種類の科目・計6単位が必修です。
 - (a) 英語 I 大学基礎（リーディング力を伸ばす科目）
 - (b) 英語 I コミュニケーション（コミュニケーション力を伸ばす科目）
 - (c) 英語 I プレTOEIC（TOEICにおいて高得点を取得する力を養う科目）
- 英語 I 大学基礎・英語 I コミュニケーション・英語 I プレTOEICの全ての科目が、プレースメントテストの点数に基づき、習熟度別にクラス編成されます。
- 英語 I にはTOEIC600点認定制度があります。入学時あるいは入学後に、TOEICで600点以上を取得した場合、その時点で未取得である英語 I の単位が全て評価点「10」で認定されます。
- 「英語 I」履修の流れ（それぞれについて、以下に詳しい説明があります。）

| | |
|----------------|------------------------------|
| 入学時： | プレースメントテストとしてのTOEIC IPテストを受験 |
| ↓ | |
| 前期履修登録： | 「英語 I」の科目は全て、履修登録は必要ありません。 |
| ↓ | |
| 前期第1回目の授業： | 学籍番号による仮クラスでの授業 |
| ↓ | |
| 4月16日（水）： | プレースメントテストの結果による受講クラスの発表 |
| ↓ | |
| 前期第2回目の授業以降： | 習熟度別クラスにて授業を受講 |
| ↓ | |
| 後期履修登録： | 「英語 I」の科目は全て、履修登録は必要ありません。 |
| ↓ | |
| 後期の授業： | 初回より前期と同じ習熟度別クラスにて授業を受講 |
| ↓ | |
| 学年末TOEIC IPテスト | |

(B) 「英語 I」科目の履修登録に関して

- 1年生に関しては、「英語 I」の科目は3科目全て、前期・後期ともに自動で登録されます。従って、履修登録の必要はありません。「英語 I」の科目と同じ授業時間帯に間違えて他の科目を登録しないよう、十分注意してください。
- 「英語 I」科目の再履修用クラスに関しては、自分で登録を行ってください。

(C) クラス分けに関して

- 「英語Ⅰ」では、皆さんの英語の習熟度に基づいてクラス編成を行います。以下の日程で行われる、TOEIC IPテスト（共通教育英語分科会主催）の結果に基づきクラス編成を行いますので、必ず受験してください。（集合時間・教室は掲示を確認してください。）

2014年度クラス編成用TOEIC IPテスト:

2014年4月9日（水） 全学部の学生

- 「英語Ⅰ」の前期第1回目の授業は、(再履修用クラスを除き) 全て「仮クラス」で行われます。p. 56～p. 58を確認し、記載のクラスにて受講してください。
第2回目の授業より、上記のテストの結果に基づいたクラス編成となります。クラス分けは掲示および共通教育英語のウェブサイト (<http://www.human.mie-u.ac.jp/~english/>) にて、4月16日（水）(午後1時を予定) に発表されます。各自必ず確認してください。なお、後期もこのクラス編成がそのまま適用されます。
- 上記のIPテストにて、600点以上を取得した場合、「英語Ⅰ」6単位全てが評価点「10」で認定されます。1年次から、「英語Ⅱ」・「英語Ⅲ」の科目（後述）が受講可能となりますので、積極的に受講してください。
- 当日使用した受験票は1年次末に行われる単位認定用のTOEIC IPテスト（下記(D)の(c) (iii) 参照）でも使用するので紛失しないよう大切に保管してください。

(D) 「英語Ⅰ」の科目に関して

- 「英語Ⅰ」には、「英語Ⅰ 大学基礎」「英語Ⅰ コミュニケーション」「英語Ⅰ プレTOEIC」の3種類の科目があり、全て1年次で履修します。
 - (a) 「英語Ⅰ 大学基礎」
 - (i) 授業内容:
大学レベルの英語文献を読むために必要となる読解力・文法力の基礎を養成することを目的とします。50人規模のクラスにおいて、英文を正確に理解する力を育てます。
 - (ii) 成績・単位について:
授業での課題・小テスト・期末テストなどに基づき、担当教員が総合的に評価します。前期1単位・後期1単位の計2単位を取得してください。
 - (b) 「英語Ⅰ コミュニケーション」
 - (i) 授業内容:
英語のコミュニケーション能力をバランスよく養成することを目的とします。35人規模のクラスにて、主に話す力・聞く力を育てるための練習を行います。
 - (ii) 成績・単位について:
授業での課題・小テスト・期末テストなどに基づき、担当教員が総合的に評価します。前期1単位・後期1単位の計2単位を取得してください。
 - (c) 「英語Ⅰ プレTOEIC」
 - (i) 授業内容:
専用のテキストおよび語学e-learningシステムを用いて、TOEICで高得点を取得できる英語力を養成することを目的とします。e-learningシステムの使用法などを説明した「英語Ⅰ TOEIC 履修マニュアル」を初回の授業（仮クラス）にて配布します。
 - (ii) 成績・単位について:
授業での課題・語学e-learningシステムによる自習およびそれに基づく小テスト・期末テ

トの結果により、各学期ともに「合格」あるいは「不合格」が与えられます。
 前期・後期ともに「合格」を得て、1年次末に行われる、三重大学共通教育英語分科会主催TOEIC IPテストで400点以上を取得すると、2単位が与えられます。(なお、単位名称は「英語 I TOEIC」です。) 成績は以下の通りです。

| 「英語 I TOEIC」 | 成績判定基準 |
|--------------|--------|
| 得点 | 評価点 |
| 520点以上 | 10 |
| 480点以上 | 9 |
| 440点以上 | 8 |
| 400点以上 | 7 |
| 400点未満 | 単位なし |

(iii) 1年次末TOEIC IPテスト (三重大学共通教育英語分科会主催) に関して:

以下の日程で実施されます。(ii)にある通り、「英語 I TOEIC」の単位認定に必要ですので、必ず受験してください。

また、1年次末TOEIC IPテストにて600点以上を取得した場合、その時点で未取得である「英語 I」の単位全てが評価点「10」で認定されます。(典型的には、「英語 I TOEIC」の2単位が「10」になり、かつ後期の「英語 I 大学基礎」「英語 I コミュニケーション」のそれぞれ1単位が「10」で認定されます。)

1年次末TOEIC IPテスト (「英語 I TOEIC」単位認定用):

2015年1月24日(土) 教育学部・医学部・生物資源学部の学生

2015年1月25日(日) 人文学部・工学部の学生

(iv) 「プレTOEIC補習」に関して:

上記の日程で実施される1年次末TOEIC IPテストにて400点に達しなかった場合、3月に開講される「プレTOEIC補習」を受講する必要があります。試験を欠席した場合も同様ですので、必ず受験し、400点以上取得できるよう頑張ってください。補習に関しては、下記(H)「英語 I プレTOEICの再履修に関して」の部分をよく読んでください。

(E) 「英語 I」の教科書に関して

- クラス分けが発表されたら、自分のクラスを確認し、ただちに自分のクラス用の教科書を生協にて購入してください。

「英語 I」教科書

英語 I 大学基礎:

中級クラス *Reading Fusion 2* (南雲堂)

初級クラス *Reading Fusion 1* (南雲堂)

英語 I コミュニケーション:

中級クラス *Interchange 3* (Cambridge)

初級クラス *Interchange 2* (Cambridge)

英語 I プレTOEIC:

中級クラス *Step-by-Step for the TOEIC Test (Step 2: Intermediate)* (アルク)

初級クラス *Step-by-Step for the TOEIC Test (Step 1: Basic)* (アルク)

(F) 「英語 I」の600点認定に関して

- 自主的に「TOEIC公開テスト」あるいは「三重大学生協主催TOEIC IPテスト（カレッジTOEIC）」を受験し、600点以上を取得した場合、その時点で未取得の「英語 I」の単位全てが「10」で認定されます。（単位は学期末に与えられます。）「英語 II」・「英語 III」の科目（後述）が受講可能となりますので、積極的に受講してください。
- 「TOEIC公開テスト」あるいは「三重大学生協主催TOEIC IPテスト（カレッジTOEIC）」にて600点以上を取得した場合には、以下の通り申請してください。

- | |
|--|
| (a) 申請期間： 前期・後期ともに <u>学期末試験期間前の2週間</u> 2014年度については前期：2014年7月16日～7月29日 後期：2015年1月21日～2月3日 |
| (b) 申請場所： 教養教育機構チーム |
| (c) 必要書類： スコアの証明書（実物）・学生証 |

- なお、600点未満については、「TOEIC公開テスト」及び「三重大学生協主催TOEIC IPテスト（カレッジTOEIC）」により取得したスコアを単位認定に使用することはできませんので、注意してください。400～600点未満のスコア認定の対象となるのは三重大学共通教育英語分科会主催のTOEIC IPテストのみです。（「三重大学生協主催TOEIC IPテスト（カレッジTOEIC）」と「三重大学共通教育英語分科会主催TOEIC IPテスト」は扱いが異なるので特に注意してください。）

(G) 「英語 I」の再履修に関して

- 「英語 I」のいずれかの単位が認定されなかった場合には、2年次に「再履修用クラス」にて受講してください。（1年生クラスへの履修登録は無効となります。）
- (a) 「英語 I」科目には前期・後期の区別はありませんので、単位が認定されなかった科目の再履修は前期でも後期でも可能です。ただし、同一学期に同じ種類の科目を複数履修することはできません。（例えば、「英語 I 大学基礎」2単位を再履修する必要がある場合、同一学期に2つ受講することはできません。前期と後期に1単位ずつ受講してください。）
- (b) 「再履修用クラス」では受講人数の調整を最初の授業にて行います。初回の授業に必ず出席してください。

(H) 「英語 I プレTOEIC」の再履修に関して

- 「英語 I プレTOEIC」の再履修に関しては、上記 (G) の (a) (b) に加え、以下の点に注意してください。
- (a) 2年次4月から「英語 I プレTOEIC再履修用クラス」を受講する学生は、その前に、3月に開講される「プレTOEIC補習」を受講・修了する必要があります。補習の期間は以下の通りです。どちらの期間で受講すべきかは、掲示にて指示しますので、どちらの期間でも受講できるようにしておいてください。
期間①：2015年3月3日～6日 期間②：2015年3月13, 16, 17, 18日
- (b) 「プレTOEIC補習」は、400点取得のための準備を主な目的としていますので、以下の学生に関してのみ、補習の受講・修了なしで「英語 I プレTOEIC再履修用クラス」への登録が可能です。
 - (i) 1年次学年末IPテストにおいて、400点以上を取得しているが、2年次以降で「英語 I プレTOEIC再履修用クラス」の受講が必要な学生。
 - (ii) 「英語 I TOEIC」の単位を取得する必要がある編入生。（以下 (I) を参照してください。）
- (c) 「英語 I TOEIC」に関しては、以下の2つの条件を両方満たすことにより、評価点「6」で2単位が認定されます。

- (i) 「英語 I プレTOEIC」の授業で、(1年次の授業を含め)計3つの「合格」を取得すること。(上記(a)の理由により、「プレTOEIC補習」の履修も必要となります。)
- (ii) 三重大学共通教育英語分科会主催のTOEIC IPテストを、1年次に受験した2回(入学時・学年末)を含め、計3回(以上)受験すること。

※但し、再履修クラスの受講後に三重大学共通教育英語分科会主催のTOEIC IPテストを受験し、400点以上を取得した場合は、評価点は「6」ではなく、(D)の(c)「英語 I プレTOEIC」の(ii)により、評価点「7」以上で単位が認定されます。

(I) 「英語 I」の履修に関するその他

- 編入生で、「英語 I」のいずれかの単位が必要な場合は、「再履修用クラス」にて履修してください。
- 休学などにより、入学後2年目以降に英語の履修を開始する場合は、「再履修用クラス」にて履修してください。
- 編入および休学により「英語 I プレTOEIC」の「再履修用クラス」を受講することになった場合には、「英語補習授業」の履修なしに受講が可能です。

③ 「英語Ⅱ・Ⅲ」について

- 「英語Ⅱ・Ⅲ」は「自由選択科目」で、「英語 I」の計6単位を取得済みの学生が受講できます。(これらの単位を「英語 I」の単位に充当することはできません。)
- 入学時のTOEIC IPテストや、前期中に自主的に受験した「TOEIC公開テスト」あるいは「三重大学生協主催TOEIC IPテスト(カレッジTOEIC)」で600点以上を取得した学生も受講可能です。英語力をさらに伸ばすため、ぜひ積極的に受講してください。
- 「英語Ⅱ・Ⅲ」の単位は、学部・学科によっては卒業に必要な選択科目の単位に算入されない場合があります。詳しくは、この履修案内の「各学部が指定する三重大学共通授業科目履修単位の詳細について(2014年度入学生適用)」で確認してください。
- 「英語Ⅱ・Ⅲ」には以下の科目があり、それぞれ週1回の授業で、1学期で1単位が認定されます。

(A) 「英語Ⅱプレゼンテーション初級」「英語Ⅲプレゼンテーション中級」

 - (a) テーマ設定から資料収集・発表まで、英語によるプレゼンテーションの基礎力をつけることを目的とします。「初級」は前期に、「中級」は後期に開講されます。
 - (b) 英語のネイティブスピーカーが担当します。
 - (c) 「中級」は「初級」の単位を取得後に履修することをお勧めします。

(B) 「英語Ⅱリーディング&ディスカッション」「英語Ⅱライティング」
「英語Ⅱビジネスイングリッシュ」

 - (a) 「英語Ⅱリーディング&ディスカッション」英語で書かれたテキストを読み、テキストの内容を基に英語で議論を行う方法・技術を身につけます。
「英語Ⅱライティング」パラグラフライティングに基づいた、英作文の基礎を学びます。
「英語Ⅱビジネスイングリッシュ」文系・理系共に役立つ、ビジネスや種々の交渉を円滑に進めるための実践的な英語スキルを学びます。
 - (b) 英語のネイティブスピーカーが担当します。

(C) 「英語ⅡTOEIC受験対策」

 - (a) 「英語 I TOEIC」の単位を取得した学生が、さらにTOEICスコアを伸ばすための科目です。
 - (b) 1年次で既に600点以上を取得し、さらに高得点を目指す学生にも適した科目です。

● 「英語Ⅱ・Ⅲ」の履修について

同じ名称の科目が、同一学期の複数の曜日・時間帯に開講されている場合、それらを同時に履修することはできません。必ず前期・後期の形で履修するようにしてください。また、単位としての認定は、各科目2回（2単位）までです。

④ 「英語履修相談」について

- 前期・後期ともに、履修申告時に「英語履修相談」を行います。英語の履修に関して質問がある場合は、相談に来てください。
- 「英語履修相談」の日時・場所については、共通教育の掲示板（および共通教育英語のウェブサイト）に掲示しますので、確認してください。

⑤ 「スコアレポート（個人成績表）」及び「公式認定証（Official Score Certificate）」の再発行について

- 上記書類は、紛失するようなことのないよう、各自で大切に保管してください。
- 万が一紛失した場合は、以下の通り、再発行の手続きを行ってください。ただし、再発行期間は試験日から2年以内です。

| 試験区分 | 書類種別 | 手続方法 |
|--------------------------------------|-----------------------------------|---|
| 三重大学共通教育英語分科会主催「TOEIC IPテスト」 | スコアレポート(個人成績表) | 三重大学生協トラベルキャリアセンター窓口で申請(印鑑と手数料1,500円を持参)する。 |
| 三重大学生協主催「TOEIC IPテスト(カレッジTOEIC)」(※1) | 〃 | 〃 |
| TOEIC公開テスト(※1) | 公式認定証(Official Score Certificate) | 再発行依頼書と定額小為替(または普通為替)500円を(一財)国際ビジネスコミュニケーション協会へ郵送する。詳細は(※2)のサイトを参照のこと。 |

(※1) 「三重大学生協主催TOEIC IPテスト (カレッジTOEIC)」 「TOEIC公開テスト」により取得したスコアは、600点未満については、単位認定に使用することはできません (p.19 ② (F) を参照)。また、(H)(c) の単位認定の条件にも使用できませんので、注意してください。

(※2) TOEIC公式サイト ⇒ TOEIC Test ⇒ 公開テスト受験後 ⇒ 公式認定証の再発行
http://www.toEIC.or.jp/toEIC/guide04/guide04_04.html#a

なお、「スコアレポート」や「公式認定証」を大切に保管するとともに、自分のスコアをいつでも確認できるよう、e-portfolioに記録しておくことを勧めます。